

第59技能五輪全国大会「プラスチック金型」職種の総評

R3 12.13~12.18, 大田区産業プラザ PIO 大展示ホール

競技主査 新家寿健

1. 参加者等

参加者 33名(30)(欠席0, 受取 31(28), 製品提出 30(25), 連続生産 25(22), 組立状態減点無し 18(13))
事業所数 12 ()は昨年度

2. 競技時間等

課題公表;大会の2カ月前, 競技課題1;1時間, 競技課題2;金型設計・加工計画;3時間(4),
機械加工;3時間30分, 仕上げ加工;3時間, 製品成形;30分

3. 成績結果の概要

33(30)名中13名が入賞し, 平均点は81.5(72.8)点であった。図1に80点以上の順位と得点の関係を示す。1位の選手の得点は97.9(92.8)点, 2位の選手は95.1(92.2)点となった。3位の選手は92.7(87.2)点である。得点差が3点程度となった。4位から6位までの銅メダルは90点以上を獲得している。以降24位の選手まで80点台の得点を獲得している。全選手の平均得点は72.8点である。

右側の結果より競技課題2-2 金型製品採点及びプラスチック成形品採点の結果が順位を確定する要因となったことがわかった。競技課題1の時間加点は1,2位の選手が獲得したが順位に影響がなかった。

大会が12月開催となったことで準備期間が1カ月増えたことが得点アップの要因と考えられる。

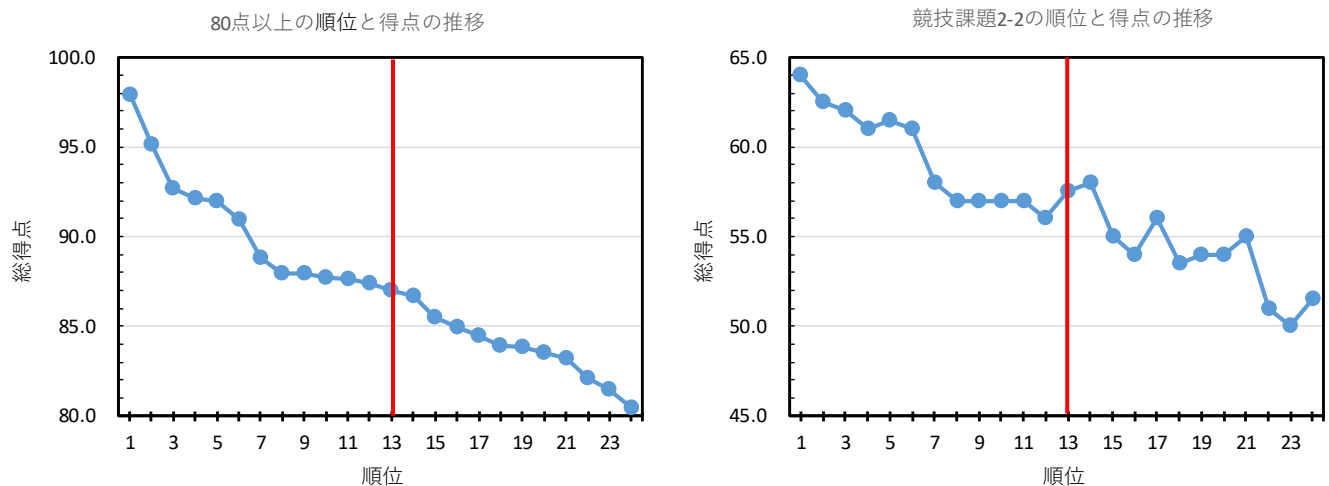


図1 順位と得点の関係

4. 課題のレベルと作品の出来栄

競技課題1(電動ハンディリユーターカバー)は30% 変更が追加されたため, フィーチャー作成順序やリブなどの詳細図, フィレット手順を考慮してモデリングする課題とし, 選手が当日対応しやすいものとした。満点の選手は3(4)名おり, 時間加点を獲得した。競技課題2(ダンプカー)は成形条件の作り出しにより, 良品が成形できる課題とした。また, コロナ禍を考慮して機械加工の負担を軽減できる, 画像寸法測定器の所有による影響がない課題とした。プラスチック製品提出者は30(25)名, 10個連続生産品提出者は25(22)名であった。製品の組立状態で減点された選手は敢闘賞ラインから外れる傾向が見られた。製品の外観検査において下が付かない選手がいなかったため競技課題2において時間加点はなかった。獲得点数は3点が最大で昨年より1点増加した。昨年に比べ製品の出来栄は良くなっていた。

5. 表彰に関すること

金賞 1 名(日立グローバルライフソリューションズ(株)多賀事業所 高野亜衣斗選手), 銀賞 2 名, 銅賞 3 名, 敢闘賞 7 名で, 連続生産ができた 25(22)名中, 製品の組立状態で減点が少なかった 13 名が入賞した。

6. 競技の運営, 設備に関すること

競技会場の広さ, レイアウトは問題の無い環境であった。会場の利用制限が厳しく, フロアマット問題や入場時間などについて不備があった。調整が多数必要であったが立地環境は良かった。次年度の大会において, 競技エリアの広さは開催県によっては同様のエリアが確保できないことも考慮して競技運営の工夫をしていく必要がある。

金型設計・加工計画時のテンプレートについて事前に HP にて展開しておりましたが, 使用していない選手が見受けられた。次年度はテンプレートを使用するように指導していただきたい。機械加工時に競技開始 1 分前のコールを失念してしまいました。5 分後に仕切り直しましたが, ブザーを鳴らす前に仕切り直しをすべきでした。暖機停止 2 分前のコールと併せて次年度はしっかりと対応させていただきます。

持参工具について HP フォーラムにて事前確認を実施してきましたが当日に報告されていないものが見受けられました。このような場合は競技委員での合議の時間が必要になるためスケジュール通りに進めることが難しくなりますので事前確認の徹底を図り、円滑な競技運営へのご協力をお願い致します。

第 60 回技能五輪全国大会実施(案)

競技会場 佐和グローバル教育センタ 工場棟 1F・2F

スケジュール 10 月 25 日(火) 持参工具搬入, 10 月 26 日(水) 競技準備, 10 月 27 日(木) 競技課題 1, 2
10 月 28 日(金) 機械加工, 11 月 2 日(水) 成形競技, 3 日(木), 4 日(金) 審査結果提出

※仕上げ加工日はフライス盤使用台数, 選手数による

以 上